



河合サテライト通信第82号

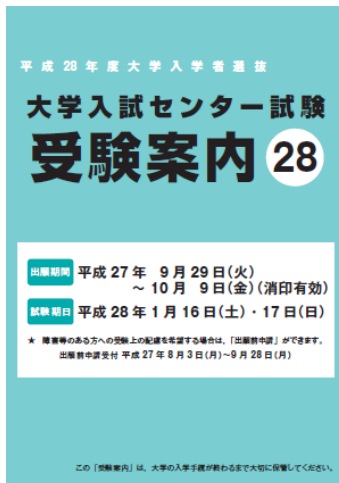
2015年9月3日

学校法人 河合塾 高校事業企画部

河合サテライト講座受講生の皆さん！2学期に入りました。夏休み前に決めた計画どおりに、学習できましたか？夏の間にしっかり勉強して、不得意科目・分野の克服はできましたか？さらに、問題演習に取り組み、解答作成力は上がりましたか？これから、皆さんの夏の間の学習に対するガンバリが、学校のテストや模試結果に成果となって現れてくることでしょう。今後も、学校の授業や塾・予備校での学習にも積極的に取り組み、元気ハツラツに充実した2学期をお過ごしください。

1. 今月29日から大学入試センター試験の出願開始！（高3生対象）

(1) 大学入試センター試験受験案内



(上)『受験案内』表紙

大学入試センター試験の『受験案内』の配付が始まりました。そこで、センター試験出願前の準備、検定料払込みなどを確認しておきましょう。高3生の皆さんには、高校を通じて配付されます。なお高卒生の場合は、センター試験を利用する各大学の入試担当窓口で入手できます(無料)。また、郵送による入手も可能ですが、送料などの個人負担があります。(参考)平成28年度大学入試センター試験情報のURLは以下のとおりです。

http://www.dnc.ac.jp/center/shiken_jouhou/

センター試験を受験する方は、必ず『平成28年度大学入試センター試験受験案内』を入手して、手続きに臨んでください。以下に『受験案内』の主な注意事項等を案内します。該当ページで、しっかり確認してください。

①出願資格を証明する書類の入手について (P.7~P.11)

【高3生】 学校長から一括して証明されるため、個人ごとは必要ありません。
【高卒生】 卒業証明書(コピー不可)を出身高校に請求して入手してください。

②志願票の記入について (P.18~P.21)

『受験案内』の記入方法をよく読み、間違えないように記入しましょう。特に、受験教科の選択記入欄においては、全ての教科について該当する選択肢を記入する必要があります。選択記入欄に正しく記入されていない場合(未記入など)、その教科は、受験しない教科として登録されてしまいます。**登録を正しく行わない場合は、希望する教科・科目を受験することができなくなります**ので、細心の注意が必要です。

③検定料の払込みについて (P.24~P.25)

検定料に払込みに使用する払込書は、払込金額により異なります。注意事項は以下のとおりです。

- ・ 払込金額 3教科以上：成績通知を希望する場合=18,800円、成績通知を希望しない場合=18,000円
2教科以下：成績通知を希望する場合=12,800円、成績通知を希望しない場合=12,000円
- ・ 払込期間 2015年9月1日(火)から10月9日(金)まで
- ・ 払込場所 「ゆうちょ銀行・郵便局の受付窓口」または「払込書裏面記載の銀行の受付窓口」
なお、ATM(現金自動預払機)は使用不可です。必ず受付窓口で払い込んでください。

④出願期間と出願方法について (P.12)

- ・ 出願期間 2015年9月29日(火)から10月9日(金)まで(10月9日消印有効)
- ・ 出願方法 【高3生】 出願書類[志願票・検定料受付証明書]を学校経由で出願します。
【高卒生】 出願書類[志願票・検定料受付証明書・出願資格を証明する書類(卒業証明書等)]を簡易書留郵便で郵送する個人直接出願となります。

(2) 受験大学は複数決めておきましょう。

センター試験では第1希望の大学に出願できるように、精一杯の奮闘をしてください。そして、センター試験後、大学への出願となります。ただし、自己採点の結果、第1希望のボーダーラインに到達できないこともありえます。その時になって、慌てて合格可能性の高い大学を探しても、「研究内容」や「カリキュラム」といった大学の特長点を、納得いくまで調べる時間的な余裕はほとんどないことと思われれます。

その結果、せっかく大学に入学しても『こんなはずじゃなかった』となってはとても辛いです。そこで、**同じような学部や学科系統があり、入試科目も類似していて、入試難易度が異なる受験候補の大学を数校、事前に選んでおいて、それら全ての大学から募集要項・出願書類を、早めに取り寄せておきましょう。**

そして、センター試験の結果を確認し、それら受験候補の大学の中から適切な受験校を決定しましょう。

このように周到に準備することで安心感が得られ、センター試験に臨む気持ちにもゆとりができることでしょう。そうすると、本番の試験の出来具合にも、少なからず良い影響が出るかもしれません。

2. 大学の募集要項等の請求と出願の方法（高3生対象）

前項1-(2)において、受験候補の大学の募集要項と出願書類を早めに取り寄せることをお勧めしました。そこで、募集要項等の請求方法についてもご紹介します。

①国公立大学の場合

国公立大学の個別学力検査(2次試験)出願期間は、2016年1月25日(月)~2月3日(水)です。**センター試験が終わってから募集要項を請求していると、出願締め切りに間に合わない可能性があります。**そこで、**万一の場合を考えて、出願を考えている全大学の募集要項を早めに請求しておき、手元に用意しましょう。**

国公立大の募集要項は、11月下旬に配送開始です。大学に直接郵送で申し込むほか、テレメールや郵便局の窓口で申し込むことができます。募集要項は無料ですが、送料の負担があります。

②私立大学の場合

私立大学については、出願期間が大学によってまちまちで、早いければ年内から受付が開始されます。

私立大学のセンター試験利用の入試は、センター試験実施前に締め切る大学もあるので注意しましょう。

募集要項は、国公立大学と同様に多くの場合、テレメールや大学のホームページを通して申し込むのが一般的です。ただし、私立大学の場合、有料のところもありますから注意してください。また、大規模な書店等での購入も可能です。時間があれば、下見も兼ねて大学に行き、直接入手してもよいでしょう。

③出願方法

出願は、基本的には郵送(書留)で行うこととなりますが、私立大学では、インターネットで出願できる大学もあります。河合塾関連サイト「52school.com」でもインターネット出願を行っていますので、利用してみてください。インターネットでの出願手続き必須の大学もありますので、確認しておきましょう。

また、**センター試験を課す大学(国公立大学およびセンター試験利用私立大学)に出願する際には、大学入試センターから受験票と一緒に送られる「成績請求票」が必要です。各大学の募集要項をよく読んで、必ず指定どおりに成績請求票を貼り付けて、出願しましょう。**

④ 受験料

受験する大学の数が多くなれば、受験料だけでも大変な出費です。私立大学の中には、受験料割引システムのある場合があります。いろいろな割引制度がありますので、募集要項などで確認してみましょう。

3. センター試験に向けた準備を、河合サテライト講座でがっちり！

河合サテライトのセンター試験対策講座で、得点率をUP!!

2015年度・センター試験対策講座

【授業は1講あたり45分間】



重要事項チェックに！



未着手科目の克服に！

英 語	英語(第1・2・3問型対応) 全10講	英語(第4・5・6問型対応) 全10講	
	英語<リスニング対策編> リスニングCD付 全10講		
数 学	数学I・A・II・B(標準編) 全10講	数学I・A・II・B(実戦編) 全10講	
国 語	現代文(標準編) 全10講	古文(標準編) 全10講	漢文(標準編) 全10講
	現代文(実戦編) 全10講	古文(実戦編) 全10講	漢文(実戦編) 全10講
理 科	物理基礎 全5講	化学基礎 全5講	生物基礎 全5講
	物 理 全10講	化 学 全10講	生 物 全10講
地 歴	日本史B 全10講	世界史B 全10講	
	地理B(系統地理編) 全10講	地理B<地誌編> 全10講	
公 民	現代社会 全10講	倫 理 全10講	政 経 全10講



河合サテライト通信第82号をご愛読いただき、ありがとうございました。